

支部社協通信

第20号

平成24年5月1日発行
西条市社会福祉協議会
地域福祉課

支部社協紹介

今号では、市北西部に位置し、丹原、庄内、国安、壬生川に囲まれた吉岡支部を紹介します。

かつては「伊予の関ヶ原」と言われたほど戦が多かった当地域ですが、南方に石鎚連峰を望み、西方には高縄の山々を抱き、風水害の少ない大変恵まれた地域です。しかし、高縄山のふもとの一部地域（広岡、上市（かみいち））は、水不足に悩まされた歴史もあり、大小様々なため池が点在しています。

地名は、中世の「荘園（しょうえん）制度」より生まれ、京都の安楽寿院という寺院が所有した「吉岡荘」という荘園の名残に由来し、地域内には豪族や藩主たちの拠点となった寺や神社が多数点在する等、古来より高い文化域であったと考えられます。

地域の中心地である「新町」は、多くの商家が集まり繁栄していた商業地域でしたが、現在では昔の面影を残す巨大な土塀や石燈楼等が残存する住宅地域へと変化しました。また、「放浪記」で知られる林芙美子は父親が新町の生まれであり、彼女が祖父の葬儀へ参列する為に新町へ帰郷した際、佐々久山より壬生川の町を見下ろしたことが知られており、そこで「帰郷」という詩が得られたとされています。

近年は著しい環境変化や世帯数の増減はほとんどないのですが、きわだった地場産業もなく、先代からの農地の小規模農業に従事する高齢者が多く、少子高齢社会を背景に将来が危惧されています。

吉岡支部

支部長 越智 茂俊



当支部では、地区の各種団体（自治会、民生児童委員協議会、老人クラブ等）の代表者に「福祉推進員」を兼任していただき、地域福祉推進活動、社協事業の運営等を行っています。

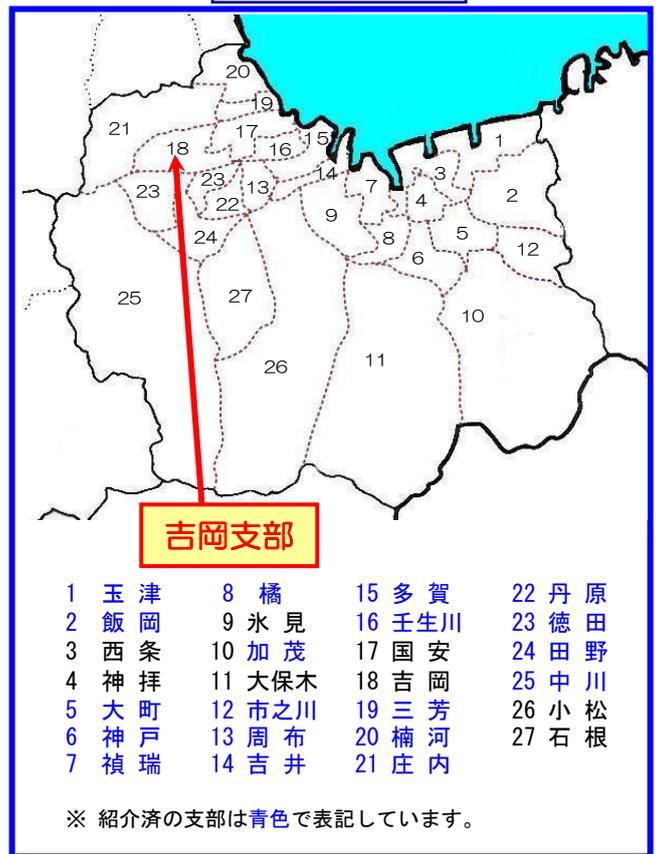
福祉推進員の方々をはじめ、地域福祉活動に貢献いただいている方々（剣道やスポーツ少年団、環境美化活動に携わる方等）に、多くのご支援・ご協力を賜っておりますこと、心より感謝申し上げます。

少子高齢社会を背景に、地域には新たなニーズや課題が発生する等、福祉の充実がますます求められており、支部社協の担う責任を感じながら、常に地域に目を向けた活動に取り組んでいます。

また、活動財源となる「社協会員制度の推進」「赤い羽根共同募金活動」をはじめ、市から受託している「敬老会事業」を強力に推進すると共に、小地域を基本単位とする「ふれあい・いきいきサロン」を通じた活動に地域活性化を願っているところです。

現在、高齢者を主対象とする5つのサロンが、それぞれの特徴を活かした活動をしており、また、サロン同士の交流もあり、ゆっくり・しっかりと「ふれあい・いきいきサロン」が地域に浸透しているようです。

27支部位置図



吉岡地区はこんなところ



■基本情報（平成24年2月末現在）

人口 : 2,397人

世帯数 : 916世帯

自治会数 : 8

施設等 : 東予北保育所、吉岡小学校、
東予西児童館、郵便局 等



■名所等

観念寺、甲賀八幡神社、佐々久神社、象ヶ森城跡、布都（ふつ）神社、
圓照寺、東光山新福寺、千人塚、古墳群（甲賀原、片山等） 等

■地場産業

農業（水稻、裸麦、柿、キウイフルーツ、里芋等）、製材、竹炭 等

■伝統・行事等

荒獅子、秋祭り、おいのこさん、とうとうさん、ふれあい文化祭 等



自慢の支部事業

「高齢者を敬愛し、心のふれあいと安らぎを得る場の提供を行い、地域の方々と協同して高齢者福祉を推進する」趣旨のもと、参加者に有意義な一日を過ごしていただけるよう、趣向を凝らした様々な「敬老の家」が各支部で開催されています。今回は、吉岡支部社協の「敬老の家」を紹介します。

- 1 事業名 敬老の家事業
 2 目的 ひとり暮らしの高齢者の生きがいを高める
 3 対象 70歳以上のひとり暮らしの方
 4 場所 吉岡公民館とホテルアジュール（今治市）
 5 行事
 ・マジックショー
 ・講話「健康について」
 ・会食と懇談 等

～ 支部長あいさつ ～



ひとり暮らしをされているの方の中には外出する機会が少なく、日中の多くの時間を自宅内にひとりきりで過ごす方も少なくありません。「敬老の家」事業へ参加することが地域に出るきっかけとなって、そこから新たな楽しみや出会いを見つけていただければと思います、当支部では毎年実施しています。（昨年度は11月17日に開催）

当事業では、まず参加者の方に公民館に集合していただいた後、ドライブを兼ねて今治市（ホテルアジュール）に移動します。道中、車から見える風景を懐かしむ方や、昔は無かった道路に驚く方等、車内での話題には事欠きません。普段、自動車に乗って外出する機会が少ない方にとっては単なる移動の時間としてではなく、参加者同士の会話や景色の移り変わりを楽しむ、有意義な時間となっているようです。

会場への到着後は、皆さんの健康増進につながればと「健康についての講話」を行い、その後余興として「マジックショー」を開催しています。マジシャンは参加者の知り合いの方で、ボランティアとして参加して下さっており、和やかな雰囲気の中、カードやタマゴを使ったマジック等を間近で見せてくれたり、タネ明かしをしてくれたり、参加者は驚きと笑いに包まれ大変楽しまれている様子です。余興の後には、ホテルで談話をしながらの昼食会を行います。参加者の方からは「ホテルは昼食がおいしい」とよく言われますが、会話も楽しみながら皆で食事するということが「おいしさ」の隠し味になっているのかもしれない。

同じ地域内でも、離れた場所で暮らす住民同士は交流する機会も少なく、当事業で久しぶりに再会し元気な姿を見て手を握り喜び合う方、懐かしそうに思い出話をされている方々をみると、私たちも嬉しくなります。

しかし、地域の方の中には、遠慮をしたり、遠出するのを拒んだりとなかなか参加されない方もおられます。そういった方々には、事業の趣旨が十分伝わっていない場合もあるかと思われますので、今後とも当事業及び社協の啓発により一層努め、ひとりでも多くの方にご参加いただけるようになることを願っています。

今後とも、「敬老の家」事業の開催や「ふれあい・いきいきサロン」の活動等を通して、地域や住民同士の接点が少なくなりがちな方々に、日々の生きがいや楽しみを見つけていただき、地域の中で元気にいきいきと暮らすためのお手伝いが出来れば幸いです。また、高齢者に限らずたくさんの方が地域で安心して暮らせるよう、地域の皆様のお力添えを頂きながら住民主体の地域福祉推進活動に取り組んでいきたいと考えています。

～ 健康について考えましょう ～



～ ボランティア有志によるマジックショー～



社協からのお知らせ

～ 第8回福祉フェスティバルについてのお礼 ～

第8回福祉フェスティバルを、4月29日（日・昭和の日）に西条市総合福祉センター（神拝）において開催しました。

福祉フェスティバル開催に際しまして、住民の皆様への周知やチャリティーバザー（のみの市）への出品等で多大なるご協力をいただきましたこと、ご来場いただきましたことに心よりお礼申し上げます。

今回の福祉フェスティバル開催が、社協及び福祉活動への市民理解や市民参加を促す契機となり、西条市内の福祉の輪がますます広がることと期待されます。

～ 各申請書締切日 ～

次の書類は6月末日が締切日ですので、ご協力をお願いいたします。

1. 支部育成事業助成金交付申請書
※前年度の支部育成事業実績報告書の提出もお願いいたします。
2. ふれあいベンチ設置申請書
3. ぬくもりボランティア推進員推薦書

※申請書等は各支所へご提出ください。